



最新8条植えの田植え機



児童からの質問に答える農事組合法人八方原代表杉山さん

6月12日、山口市立上郷小学校2年生が田植え見学に行ってきました。小学生にとって地域のことを学ぶことはとても重要です。小郡地域の各小学校でも同じような校外学習が行われていますが、2年生で大型機械を使った農作業をまじかに見ることができ

最新の機械を使ったカッコいい農業を

のは、上郷小学校だけだと思います。

農業に対する昔ながらの重労働というイメージではなく、新鋭機を使った現代農業を実感してもらいます。また食物がどうして作られるのかを学ぶことも重要です。

農事組合法人代表の杉山さんは、「こうして大事に育て作られるお米をしっかりと食べるように」と話しました。きつとみんな、これまで以上に食べてくれるはずです。

たくさんの方のご協力ありがとうございました

市道八方原森下線と関連の公有地の除草清掃作業が、6月24日に行われました。

今回は48名の参加がありました。市道の距離は1670メートルとなっています。概算では一人が40メートルを担当すれば、完了する計算となります。これが共同作業の強みです。

この作業は市から受託したもので、秋にもう一度実施します。作業が終わると、道幅が広くなったような気がします。



人海戦術と機械力、作業は1時間もかからない

たった一人で頑張る「かかし君」



左の胸に八方原の文字

八方原に「かかし」が登場しています。重富享佑さんの畑です。野菜を鳥から守ってもらうために頑張っているようです。よく見ると上着の胸には「八方原」の文字が見えます。こんなブルゾンタイプの上着を使っていたことがあるのですね。ともかく、幸運を祈りましょう。



消防学校のグラウンドを使用して、大型の機械が次々に登場してくる

安全安心？災害は予告なし

6月11日、山口県総合防災訓練が山口県消防学校で行われました。巨大な地震が発生したという想定で、たくさんの関係団体がそれぞれの作業と役割

割を確認する形です。

緊急地震通報の後、自衛隊の偵察隊が現場の状況を確認にきわめて走破性の高い二輪車で出発。無線連絡を受け

た別の部隊が機動車と不整地走行車で急行、直ちに道路の安全確保にかかります。その間、空からは航空

自衛隊の練習機、県警と消防のヘリコプターそれに現場の状況をカメラで伝えるドローンが登場。本部モニターには上空からの精緻な画像が映し出されます。

動けなくなった車両の撤去、家屋火災の消火、プロパンガスボンベの撤去など次々に展開されました。こういう訓練をなかなか見ることはないで、非常に貴重なものでした。実際の災害に備えるには、日ごろからの訓練ときちんとした防災計画を持っていることが重要です。

地域の未来を語る振興会議

八方原自治会の運営について話し合う会議が振興会議です。この会議には自治会、子ども会、老人会、農業法人などの団体それに事業所の関係者が出席しています。

今回は水路清掃についての問題について話し合いました。今年から始めた事業所周辺の水路清掃については、今後も同様の取り組みをしていくことが確認されました。

また水路清掃についての農業施設と一般水路についての区分がはっきりしないなどの問題があり、この問題については後日話し合いを行うことになり、その結果水路清掃については自治会行事であることを確認、作業については自治会と農業水利関係者が綿密に話し合い、作業分担を明確にすることなどが決まりました。

夏祭りのことについても話が及び、今までの食品業者からの仕入れが難しいことから、対策を考えました。結論は「やはり食べ物は必要である、方法はともかくなんとか確保したい」ということになりました。

山口で陸上ナンバーワンの戦いが



女子 1500 メートル決勝、最後尾近くの選手がトップに

日本陸上競技選手権大会が6月22・23・24日、維新みらいふスタジアムで行われました。田島記念陸上大会など6月は大きな大会がありますが、日本選手権は別格です。陸上競技日本一の座をかけた熾烈な戦いが繰り広げられました。大会は午後から始まり、一番人気の種目は日が沈んでからというテレビ放映を強く意識した構成になっています。やはり直に見る競技の迫力は違います。2万人の陸上競技ファンが堪能しました。